

創業60年、演者の「持道具」に特化 TV・映画・劇場の 縁の下の力持ち！

京阪商会(世田谷区大蔵、市口正
明社長、03・3417・2521)
は、主にテレビ、劇場用映画、舞台
演劇および一般持道具の貸し出し
業務、撮影現場における道具類の
操作などを行っている。

創業は昭和30年に遡り、当時から劇場用映画の撮影現場や舞台演劇に道具の貸し出しを行い、さらに誕生して間もないテレビ業界にも進出し、ドラマやバラエティ番組におけるスタッフの一角を占め、貸し出し・操作に特化した業務を永年手がけてきた。

「持道具」とは、演者が身に着ける帽子、メガネ、鞆、履物類を指す用語。ファッションの最先端を行うテレビ、映画業界が主なお客様であるため、洗練されたアイテムが要求されることが多い。また、俳優やタレントを通じて、そのキャラクターの個性や役柄の特徴に加えて、演技の際の場所設定や状況を明確にし、さらに時代背景などをクローズアップする表現者としての役割も担う重要な要素の一つと言える。

多様で繊細なお客様のニーズに対応するため、品物の質と量、特殊



市口正明社長

な品物類の確保と品質管理に全力を尽くして、お客様に喜ばれるような道具を提供できるよう努力している。「明治以降のドラマの衣装や持道具の種類は業界一で高いシェアを占めています。また、持道具を演者に提供するだけでなく、お客様のトータルコーディネートまで手がけるのは業界で唯一です」と市口社長は語る。これからも、お客様のいかなるシチュエーションにも対応できるような持道具のコーディネーターとして技術を磨いていく。



道具を収容した倉庫



現場で使用される持道具の一例